

日本海総合病院における病床規模の適正化について

- 1 日本海総合病院の3階南病棟の3室12床については、平成26年度、看護師配置見直しによる7:1看護体制の維持等のため、消化器内科及び眼科等の病床数を整理し、以降休床としていた。
- 2 平成28年に「山形県地域医療構想」が策定されたが、旧酒田市立八幡病院の当法人への移管統合に伴う病床の削減(46床)が検討されていたことから、地域における医療提供体制への影響を見極めるべく、引き続き休床としていた。
- 3 移管統合から半年以上が経過した現在、地域における医療提供体制に特段の影響が確認されていないことから、今般、診療機能等の充実化のための用途転換をすることにより、病室の有効活用を図ることとしたもの。

4 病床数の変更

	(変更前)		(変更後)
許可病床数	一般病床	642床	⇒ 630床 (▲12床)
	(うち、救命救急センター	24床)	⇒ (24床) (± 0床)
	感染症病床	4床	⇒ 4床 (± 0床)
	合 計	646床	⇒ 634床 (▲12床)